



2022年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年3月15日

上場会社名 REVOLUTION

上場取引所 東

コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ジョン・フー

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 津野 浩志

TEL 083-229-8894

四半期報告書提出予定日 2022年3月16日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期第1四半期の連結業績(2021年11月1日～2022年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第1四半期	177	46.3	59		53		54	
2021年10月期第1四半期	330		124		142		122	

(注) 包括利益 2022年10月期第1四半期 61百万円 (%) 2021年10月期第1四半期 123百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期第1四半期	0.14	
2021年10月期第1四半期	0.42	0.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年10月期第1四半期	2,159	1,597	74.0	3.99
2021年10月期	2,199	1,659	75.4	4.15

(参考) 自己資本 2022年10月期第1四半期 1,597百万円 2021年10月期 1,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期		0.00		0.00	0.00
2022年10月期					
2022年10月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	736	23.9	60	64.7	64	66.3	64	60.7	0.16
通期	1,752	60.7	119	42.8	113	53.5	113	55.5	0.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年10月期1Q	400,000,510 株	2021年10月期	400,000,510 株
期末自己株式数	2022年10月期1Q	4,181 株	2021年10月期	4,161 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年10月期1Q	399,996,335 株	2021年10月期1Q	294,688,257 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が流行し第6波として認識される中、まん延防止等重点措置が実施されました。また、ロシア・ウクライナによる紛争の可能性が顕在化し、海外マーケットへ影響が出る等、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループに係る不動産業界及び投資業界においても、新型コロナウイルス感染症や紛争問題による影響が懸念されており、先行きは不透明な状況です。

このような状況下、不動産事業においては、「住」を支える企業として感染症対策を施しながら積極的な営業活動を行い、売買仲介や賃貸住宅の斡旋、管理物件の取得に注力いたしました。また、投資事業においては、保有する上場会社新株予約権の行使及び市場での売却を進めたこと、上場会社の親会社が発行する社債を購入し利息を売上計上しましたが、保有する営業投資有価証券の一部について時価まで減損処理を行い原価として計上いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は1億7千7百万円（前年同四半期比46.3%減）、営業損失は5千9百万円（前年同四半期は営業利益1億2千4百万円）、経常損失は5千3百万円（前年同四半期は経常利益1億4千2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5千4百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純利益1億2千2百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産の売買仲介については、中古住宅の仲介案件を中心に契約、引き渡しを進めました。また、当社の収益物件は高稼働しており安定的に家賃収入を得ております。新型コロナウイルス感染症の拡大はあるものの必要なお客様へ住居の斡旋・提供を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億6千5百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は2千1百万円（前年同四半期比44.2%減）となりました。

② 投資事業

当第1四半期連結累計期間における投資実績は、ジャスダック市場に上場する株式会社レッド・プラネット・ジャパンの親会社が発行する社債を購入しました。これまでの投資実績は5社7件です。そのうち、㈱フルッタフルッタに関しては新株予約権を適宜行使し、市場の動向を鑑みながら売却を進めております。金地金寄託事業は、営業活動をスタートいたしましたが無実績はありません。また、投資運用業、投資助言代理業開始に向け、関東財務局に対して申請手続きを提出し、質疑応答を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1千2百万円（前年同四半期比92.4%減）、営業損失は5百万円（前年同四半期は営業利益1億5千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9億2千万円となり、前連結会計年度末に比べて6千4百万円減少しました。現金及び預金の減少3億8千1百万円、営業投資有価証券の増加3億7千4百万円が主な要因であります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は12億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて2千5百万円増加しました。敷金及び保証金の増加3千2百万円が主な要因であります。

③ 繰延資産

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産は2百万円となり、前連結会計年度末に比べて1百万円減少しました。株式交付費の減少1百万円が主な要因であります。

④ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて2千2百万円増加しました。短期借入金の増加6千7百万円、借入有価証券の減少2千2百万円が主な要因であります。

⑤ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は2億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて1百万

円減少しました。長期借入金の減少2百万円、長期預り敷金保証金の増加1百万円が主な要因であります。

⑥ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は15億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千1百万円減少しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は21億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて4千万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月期の連結業績予想につきましては、2021年12月14日付の「2021年10月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	626,194	244,873
営業未収入金	13,050	8,836
営業投資有価証券	117,236	492,088
商品	311	513
販売用不動産	65,602	93,080
未成工事支出金	6,975	6,600
その他	155,477	74,249
貸倒引当金	△251	△195
流動資産合計	984,597	920,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	558,594	552,542
車両運搬具（純額）	3,877	3,046
工具、器具及び備品（純額）	9,940	10,338
土地	577,113	577,113
有形固定資産合計	1,149,525	1,143,040
無形固定資産		
ソフトウェア	6,293	5,828
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	10,559	10,094
投資その他の資産		
投資有価証券	8,424	7,587
出資金	950	950
破産更生債権等	206,679	206,589
敷金及び保証金	42,200	74,244
貸倒引当金	△206,679	△206,589
その他	-	1,030
投資その他の資産合計	51,574	83,812
固定資産合計	1,211,659	1,236,947
繰延資産		
株式交付費	3,530	2,206
繰延資産合計	3,530	2,206
資産合計	2,199,788	2,159,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	17,934	8,212
短期借入金	-	67,665
1年内返済予定の長期借入金	8,628	8,007
未払金	10,847	459
未払法人税等	-	123
借入有価証券	49,834	27,829
預り金	98,833	93,565
賞与引当金	9,330	4,870
前受収益	51,966	51,210
その他	38,255	45,804
流動負債合計	285,629	307,748
固定負債		
長期借入金	177,446	175,430
退職給付に係る負債	18,561	19,347
長期預り敷金保証金	56,421	57,785
その他	2,576	932
固定負債合計	255,006	253,496
負債合計	540,636	561,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,511,355	1,511,355
利益剰余金	44,582	△9,436
自己株式	△1,969	△1,970
株主資本合計	1,653,967	1,599,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,183	△1,992
その他の包括利益累計額合計	5,183	△1,992
純資産合計	1,659,151	1,597,956
負債純資産合計	2,199,788	2,159,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年1月31日)
売上高	330,288	177,405
売上原価	120,260	137,241
売上総利益	210,027	40,163
販売費及び一般管理費	85,234	99,242
営業利益又は営業損失(△)	124,793	△59,079
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	86	146
業務受託収入	39,999	30,000
その他	274	628
営業外収益合計	40,360	30,774
営業外費用		
支払利息	1,360	1,068
業務受託費用	19,777	22,467
株式交付費償却	1,323	1,323
為替差損	42	-
その他	380	731
営業外費用合計	22,884	25,591
経常利益又は経常損失(△)	142,269	△53,896
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	142,269	△53,896
法人税、住民税及び事業税	19,500	123
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	19,500	123
四半期純利益又は四半期純損失(△)	122,769	△54,019
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	122,769	△54,019

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	122,769	△54,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,013	△7,176
その他の包括利益合計	1,013	△7,176
四半期包括利益	123,782	△61,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,782	△61,195
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業			
売上高					
外部顧客への売上高	169,545	160,742	330,288	—	330,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	169,545	160,742	330,288	—	330,288
セグメント利益	39,239	153,627	192,867	△68,074	124,793

(注) 1 セグメント利益の調整額△68,074千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	87,456	—	87,456	—	87,456
その他の収益(注) 3	77,740	12,208	89,949	—	89,949
外部顧客への売上高	165,196	12,208	177,405	—	177,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	165,196	12,208	177,405	—	177,405
セグメント利益又は損失 (△)	21,904	△5,776	16,127	△75,206	△59,079

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,206千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関

する会計処理の方法を変更したため、報告セグメントの売上高の測定方法を同様に変更しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。